



特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

第20回通常総会議案書

2025年3月2日(日) 14:00~15:00

於) 東京しごとセンター 飯田橋 5階セミナー室(東京都千代田区飯田橋3丁目10番3号)
およびオンライン(ZOOM)

総会議事

1. 総会成立の確認
2. 総会開会挨拶
3. 議長選出
4. 書記、議事録署名人の選任
5. 報告事項
6. 審議事項
 - 第一号議案 2024年度事業報告
 - 第二号議案 2024年度決算報告
 - 第三号議案 2025年度事業計画
 - 第四号議案 2025年度予算
 - 第五号議案 役員改選
7. 行事
 - 活動紹介
8. 議長解任
9. 総会閉会挨拶

目 次

■第一号議案 2024年度事業報告

1、事業実施の報告	2
2、事業実施に関する事項	
—コンテンツ制作に係る事業—	
(1)市民の視点や人権・環境を考慮にいたった番組の制作	3
(2)人権・環境を考慮にいたった国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介	5
—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—	
(3)子ども・市民のための映像制作教育	5
(4)市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり	6
(5)社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援	6

■第二号議案 2024年度決算報告

活動計算書	8
貸借対照表	10
財産目録	11
注記	12
2024年度監査報告書	15

■第三号議案 2025年度事業計画

1、事業実施の方針	16
2、事業実施に関する事項	
—コンテンツ制作に係る事業—	
(1)市民の視点や人権・環境を考慮にいたった番組の制作	17
(2)人権・環境を考慮にいたった国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介	17
—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—	
(3)子ども・市民のための映像制作教育	17
(4)市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり	17
(5)社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援	18

■第四号議案 2025年度予算

■第五号議案 役員改選

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV
2024年度 事業報告書

1、事業実施の報告

2024年は1月1日の能登半島地震で始まる厳しい1年でした。また、都知事選、衆議院選、兵庫県知事選などが行われ、SNSをはじめとするインターネットメディアの影響力を印象づける一年となりました。一方で、事実に基づかないフェイク情報を多くの人々が鵜呑みにするような社会現象が急速に進み、ジャーナリズム全体の力に影が差すような状況に陥っています。

こうした中、OurPlanet-TVではオンライン上の発信だけでなく、リアルに直面してのイベントを年に4回開催しました。能登半島で原発計画が中止となった珠洲市が地震の震源地となり、大規模な隆起や沈降が起きたことを背景に、1月下旬には「能登半島地震から考える原発のこれから」(専修大学)と題する緊急シンポジウムを開催。200人を超える多くの方にご参加いただきました。また9月には、2001年のNHK「ETV問題」や2016年の朝日新聞「吉田調書」報道の関係者を招き、シンポジウム「ジャーナリズムが生き残るために～当事者が問うメディアと安倍政治」(中央大学)を開催し、ジャーナリスト同士の連携の大切さについて改めて確認しました。さらに12月には、メディアでタブー視されている小児甲状腺がんを取り巻く構造にメスを入れるイベント「封印される小児甲状腺がん～何が隠されているのか」を開催しました。いずれも、第一線で活躍するジャーナリストを招き、深く画期的な討論ができました。

このほか、2013年から取材を行い、プロジェクトを展開してきた福島県南相馬市の小高中学校で、生徒を対象としたワークショップを実施、上映とトークのイベントを行いました。

独自発信の映像ニュースでは、LGBTQ問題や外国人の入管問題、福島原発事故に伴う課題、リニア高速新幹線工事問題、優生保護法の問題など、多岐にわたるニュースを取り上げました。

多くの方からのご寄付をいただきながら、受託制作の映像が少なく、3年連続で大きな赤字となっています。来年度は、少しでも財政が健全化するよう、より時代にあった取り組みを展開していきたいと考えています。

代表理事 白石 草

- (1) 会員数 2025年1月20日現在
正会員 19人 / 賛助会員 個人 203人/団体 1
- (2) 従業員の状況
*フルタイムスタッフ2名 アルバイトスタッフ1名
- (3) 活動の拠点
*東京事務所

2、事業実施に関する事項

—コンテンツ制作に係る事業—

(1) 市民の視点や人権・環境を考慮にいたった番組の制作

独自企画番組の制作および配信

【事業内容】

本年は原発関係やLGBTQ問題、外国人の入管問題、リニア高速新幹線工事問題、優生保護法の問題など63本の映像を配信。構成物のドキュメンタリーやインタビュー番組がなく、全てがストレートのニュースであったことが大きな課題となった。一方、YouTube のチャンネル登録のキャンペーンを行い登録者が30,400人に増加した。



<番組一覧> 新規配信番組は計63番組

- 1月11日 「原子力災害対策指針」見直し言及～能登地震受け、規制委員長
- 1月19日 柏崎原発「安全に避難できない」7割～市民緊急調査
- 1月26日 福島原発かながわ訴訟「国の責任認めず」東京高裁判決
- 1月30日 緊急シンポ「能登半島地震から考える原発のこれから」
- 2月2日 小児甲状腺がん悪性370人～福島県民調査
- 2月6日 原子力規制委に「審査凍結」申し入れ～原発地元住民
- 2月15日 「チョコで同性婚を応援！」弁護士らが啓発キャンペーン
- 2月20日 岸田政権は原子力政策を転換すべき～能登地震を受け地元住民会見
- 2月26日 「処理水」海洋放出やめよ！～国際署名を開始
- 2月29日 【アーカイブ】福島医大「県民健康調査」国際シンポ
- 3月1日 入管法・監理措置制度「治安維持法だ」～弁護士ら反対声明
- 3月4日 原告側「100ミリ閾値」に反論～甲状腺がん裁判
- 3月8日 同性パートナーへの犯罪被害給付金が初の最高裁判断へ
- 3月11日 「すべての人の人権まもれ！」～国際女性デーで渋谷をデモ行進
- 3月11日 志賀原発・地震の被害施設を初公開 ～敷地内に多数の亀裂と段差
- 3月15日 同性婚を認めないのは「違憲」「違憲状態」～札幌高裁と東京地裁で異なる判決
- 3月15日 「美談で被害を覆い隠さない」～311東電本店合同抗議
- 3月20日 在留資格の取消し制度「絶対反対」～弁護士ら緊急会見
- 3月22日 入管法改正案「技能実習制度を存続させる」弁護士ら反対
- 3月25日 スクリーニング効果を検証へ～福島県の甲状腺がんめぐり
- 3月29日 犯罪被害者遺族給付金は同性パートナーも対象～最高裁初判断
- 4月3日 「父だけビザ付与されず」～家族の在留資格求め署名提出
- 4月16日 見た目で職務質問やめて～レイシャルプロファイリング訴訟
- 4月22日 原発事故の屋内退避の検討はじまる～能登地震受け
- 4月23日 性の多様性の可視化へ1万5千人が渋谷を行進
- 4月24日 ALPS 処理水の海洋放出、直ちに中止を～18万の署名提出
- 4月24日 訴訟中に在留特別許可付与「涙出た」
- 4月30日 入管問題を風化させない～全国一斉デモ
- 5月7日 福島県民が環境保健部長の退任要求～福島県・検討委員会
- 5月21日 「相談できない」若者の孤立浮き彫り～NPO 調査
- 5月29日 旧優生保護法違憲訴訟～最高裁で弁論

- 6月5日 原告本人の弁論めぐり原告側と裁判所が綱引き～甲状腺がん裁判
- 6月13日 「永住権取り消し」制度の削除を～入管改正法で緊急集会
- 6月14日 一刻も早い緊急避妊薬の販売を
- 6月18日 「原発事故は国の責任」～最高裁を取り囲み人間の鎖
- 6月27日 【アーカイブ】「能登半島と原発」院内集会
- 6月28日 岐阜の水源地枯渇で JR の調査不足指摘～ストップ！リニア訴訟控訴審
- 7月3日 同性婚の法制化に賛同企業 500 社～1年で急拡大
- 7月3日 最高裁、旧優生保護法は違憲～除斥期間適用せず
- 7月17日 住まいを追われる原発避難者～末期がん女性の苦悩を聞く
- 7月26日 「見た目」での職務質問の実態解明へ～レイシャルプロファイリング訴訟
- 8月1日 「甲状腺がんと被ばく」関連否定した報告書～委員の意見反映せず
- 8月2日 小児甲状腺がん380人に～福島県検査
- 8月9日 首相「合理的解決に向け厚労省に指示」～長崎・被爆体験者救済めぐり
- 8月22日 ALPS 処理水の海洋放たただちに中止を～20万人の署名提出
- 9月6日 原告側「トンネルの直上以外でも地盤緩みの影響ある」主張～東京外環道訴訟第23回口頭弁論
- 9月9日 援護区域外の原告の一部”被爆者”と認定～長崎地裁
- 9月11日 UNSCEAR 報告書の過小評価の原因特定か～甲状腺がん裁判
- 9月18日 優生手術被害者「狂わされた人生、戻ってこない」～旧優生保護法違憲判決で合意書締結
- 9月20日 警察の職務質問「記録なし」～レイシャルプロファイリング裁判で判明
- 9月27日 「世論」で憲法判断しないで～同性婚訴訟
- 10月3日 経産省に「改善急いで」～最高裁「違法」判決後も女性トイレ制限
- 10月11日 岐阜県の水源地枯渇と地盤沈下で裁判長期化か～リニア新幹線裁判
- 10月24日 同性婚を認めない民法規定「違憲」～東京高裁
- 11月8日 「希望ある国になってほしい」～同性婚訴訟で最高裁に上告
- 11月12日 悪性疑い387人に～福島県・甲状腺がん
- 11月15日 甲状腺がん悪性391人へ～集計外は47人
- 11月21日 「また犠牲者を出してしまった」支援者らが法務省前で追悼～入管施設での自死事件から2年
- 11月21日 映画監督がトランスジェンダー差別反対の声明
- 12月13日 東京外環道トンネル工事の機器破損「再発防止対策ない」原告側が訴訟で主張
- 12月13日 東電側「専門家の意見書」次回以降へ～甲状腺がん裁判
- 12月17日 「私のからだは私のもの！」～全国で女性の尊厳訴えるデモ
- 12月26日 能登の仮設住宅「洗濯物が乾かない」～住民の悲鳴から「ランドリーカフェ」構想

過去のインタビュー番組アーカイブ化

2006年に配信を開始したインタビュー番組「ContAct」のアーカイブ化を進め、2006年9月～2009年2月に配信した全74番組を公開した。

福島映像祭／番組関連イベント

映像作品を集めて上映する形態は見合わせ、原発事故やジャーナリズムにまつわる幅広いテーマで、単発のイベントを開催することとした。1月には能登半島地震関連の緊急シンポジウム、12月には「甲状腺がん調査・取材プロジェクト」キックオフ企画として取材報告イベントなどを行い、多数の方にご参加いただいた。



◆2024年1月28日(日) 緊急シンポ「能登半島地震から考える原発のこれから」

登壇者:七沢潔(ジャーナリスト)、北野進(志賀原発廃炉に！訴訟原告団長)

添田孝史(科学ジャーナリスト)、井戸謙一(弁護士/元裁判官)、白石草(OurPlanet-TV代表)

共 催:OurPlanet-TV、専修大学ジャーナリズム学科、早稲田大学GEC(ジャーナリズムとメディア表現)

◆2024年9月14日(土) シンポジウム「ジャーナリズムが生き残るために～当事者が問うメディアと安倍政治」

登壇者:長井暁(元NHK-ETV2001番組担当デスク)、宮崎知己(元朝日新聞「吉田調書」報道担当記者)

大森淳郎(『ラジオと戦争』著者)、金平茂紀(ジャーナリスト)、白石草(OurPlanet-TV)

七沢潔(中央大学法学部客員教授)

主 催:中央大学法学部ジャーナリズム研究会

共 催:日本ジャーナリスト会議／メディア総合研究所／放送を語る会／地平社／OurPlanet-TV

◆2024年12月12日(木) 取材報告イベント「封印される小児甲状腺がん～何が隠されているのか～」

登壇者:アイリーン・美緒子・スミス(環境NGOグリーンアクション代表)、白石草(OurPlanet-TV代表)

金平茂紀(ジャーナリスト)

主 催:OurPlanet-TV

DVD販売

DVD『飯館村 わたしの記録』を3本販売した。

自主上映

『東電テレビ会議 49時間の記録』(2013年製作)は、2024年2月24日(土)～3月11日(月)に東京都・練馬区で開催された第13回江古田映画祭で上映された。また、大阪のミニシアター・シアターセブンで開催された特集上映&避難者トーク企画「3.11を改めて考える～原発問題を中心に～第10回:棄民と隠蔽<隠されてきた健康被害>にて『チェルノブイリ・28年目の子どもたち』(2013年製作)が上映され、上映後のトークに代表の白石が参加した。

(2) 人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

映像コンテンツの翻訳 対象となる事業は行わなかった。

—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

(3) 子ども・市民のための映像制作教育

映像ワークショップ

LUSHの助成金を得て行った南相馬市の小高中学校の生徒を対象とした映像ワークショップの、完成作品を上映するイベント『上映&トーク 合唱曲「群青」から学ぶ子どもたち～中学生が触れた東日本大震災～』を7月に小高交流センターにて開催した。生徒たちが選んだ撮影素材と、これまでにOurPlanet-TVが撮りためた映像をまとめた。現地、オンラインあわせて30人ほどが参加。上映会に際して、これまで聞いたことがなかった震災当時の経験について、生徒自身がそれぞれの親に事前聞き取りをし、イベントにて語る機会も設けた。



(4) 市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

メディアセンター

【事業内容】

アジアプレスと3. 11甲状腺がん子ども支援ネットワークがスペース利用を継続している。計画していた「ビデオお悩み相談室(仮)は実施を見合わせた。

アドボカシーおよびキャンペーン活動

【事業内容】

OurPlanet-TV が2019年3月に配信した記事が名誉棄損にあたるとして、開沼博東京大学大学院情報学環准教授が2022年8月、OurPlanet-TV に対し500万円の損害賠償を求める裁判を東京地方裁判所に提起した。2024年末までに10回の口頭弁論期日を終え、和解協議へと進んだが、和解協議が不調に終わったため、弁論が再開されることとなった。

(5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

映像コンテンツなどの受託制作

【事業内容】

2024年度はNPO、NGOなどからの受託事業が大幅に減り、収入として大幅な減額となった。特にOurPlanet-TV が得意とする長尺の構成物がなく、次年度は、その点が課題である。

【実施実績】

- アーユス仏教国際協力ネットワーク(授賞式オンラインサポート)
- 現代人文社(新人賞受賞式記念セミナー配信)
- 第二東京弁護士会(事実認定に関する動画教材制作)
- 平和フォーラム(被爆79周年原水禁大会映像撮影)
- 平和フォーラム(原水禁大会メッセージビデオ日本語版)
- 平和フォーラム(「経済安保法」解説ビデオ)
- 平和フォーラム(第61回護憲大会映像撮影)
- B型肝炎原告団弁護団(大臣協議会オンライン会議)
- 一般社団法人 NATURE&HUMANS JAPAN(能登半島地震院内集会ライブ配信)
- 日弁連市民のための法教育委員会(成年年齢引下げ法教育教材動画作成)
- 子どもの権利オンブズパーソンながさき(別室支援 PR 動画作成)
- 子どもの権利条約フォーラム2024 in 東京実行委員会(子どもの権利条約フォーラム配信)

組織

ファンドレイジング

2024年は「YouTube チャンネル登録3万人キャンペーン」を5月にスタートし、9月にはチャンネル登録者が3万人を突破した。Instagram や Tiktok などソーシャルメディアの更新も強化し、画像や動画などを活用しながら番組の拡散や支援の呼びかけなど広報手法を少しずつアップデートした。

夏のキャンペーン「継続サポーター募集」は成果が振るわなかったものの、年末寄付キャンペーンでは新規寄付者26人を含む206人の方から目標の200万円を上回る242万円をご寄付いただいた。また、小児甲状腺がんの取材への応援として100万円の大口寄付を2件いただいた。

- ・新規入会者名 5人(賛助会員個人)
- ・寄付総額 500万円以上
 - 2万～5万円未満 30人(3増)
 - 5万～10万円未満 13人(4増)
 - 10万円以上 6人(3減)
 - 50万円以上 2人(2増)
 - マンスリー寄付 26人

スタッフ体制

昨年に続きフルタイムスタッフは2人、パートタイムスタッフ1名の体制となった。

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

自 2024年 1月 1日
至 2024年 12月 31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	140,000	
賛助会員受取会費	1,950,582	2,090,582

【受取寄付金】

受取寄付金		5,587,752
-------	--	-----------

【事業収益】

メディア支援事業収益		7,001,678
(番組制作情報提供)		(787,628)
(メディア教育支援)		(841,500)
(社会貢献メディア支援)		(5,372,550)

【その他収益】

受取 利息	1,149	
雑 収 益	11,759	12,908

 経常収益 計

14,692,920

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	6,892,080	
法定福利費(事業)	962,494	
通 勤 費(事業)	158,382	
福利厚生費(事業)	103,714	
人件費計	8,116,670	

(その他経費)

売上 原価	6,325	
外注費 (事業)	624,772	
諸 謝 金	94,548	
印刷製本費(事業)	89,515	
会 議 費(事業)	123,334	
旅費交通費(事業)	892,416	
通信運搬費(事業)	443,329	
消耗品費(事業)	52,795	
機材費 (事業)	113,625	
修 繕 費(事業)	14,900	
資料費(事業)	111,794	
水道光熱費(事業)	219,020	
WEB 構築費	28,800	
地代 家賃(事業)	1,774,080	
会場費(事業)	28,769	
リース料	41,865	
減価償却費(事業)	135,450	
諸 会 費(事業)	7,200	
租税 公課(事業)	200	
支払手数料(事業)	58,750	

雑費(事業)	7,820	
その他経費計	4,869,307	
事業費計		12,985,977
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	1,723,020	
法定福利費	240,624	
通勤費	140,038	
福利厚生費	299,400	
人件費計	2,403,082	
(その他経費)		
印刷製本費	110,472	
会議費	93,571	
通信運搬費	233,656	
消耗品費	53,965	
水道光熱費	54,755	
地代 家賃	443,520	
接待交際費	9,800	
資料費	26,400	
諸会費	159,375	
租税 公課	310,950	
支払手数料	122,454	
会場費	30,800	
雑費	9,916	
その他経費計	1,659,634	
管理費計		4,062,716
経常費用計		17,048,693
当期経常増減額		△ 2,355,773
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 2,355,773
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		△ 2,425,773
前期繰越正味財産額		18,748,246
次期繰越正味財産額		16,322,473

貸借対照表

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV
全事業所

[税込] (単位: 円)
2024年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		預り金	286,108
現金	83,952	未払法人税等	70,000
ドル現金	49,826	未払消費税等	310,500
普通預金	13,794,415	流動負債合計	666,608
ペイパル	211,360	負債合計	666,608
シンカブル	1,033,459	正味財産の部	
現金・預金計	15,173,012	前期繰越正味財産	18,748,246
(売上債権)		当期正味財産増減額	△ 2,425,773
未収金	550,000	正味財産合計	16,322,473
売上債権計	550,000		
(棚卸資産)			
商品	51,509		
棚卸資産計	51,509		
流動資産合計	15,774,521		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	122,560		
有形固定資産計	122,560		
(投資その他の資産)			
敷金	1,092,000		
投資その他の資産計	1,092,000		
固定資産合計	1,214,560		
資産合計	16,989,081	負債及び正味財産合計	16,989,081

財 産 目 録

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV
全事業所

[税込] (単位：円)
2024年12月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	83,952
ドル 現金	49,826
普通 預金	13,794,415
三菱UFJ 神保町	(7,968,941)
三菱UFJ 特別	(10,000)
三菱UFJ トヨタ	(902)
三菱UFJ 春日町	(20)
城南信金九段下	(2,108,376)
郵便貯金総合	(2,089,053)
郵便振替	(1,118,177)
中央労働金庫	(498,946)
ペイパル	211,360
シンカブル	1,033,459
現金・預金 計	15,173,012

(売上債権)

未 収 金(委託制作)	550,000
売上債権 計	550,000

(棚卸資産)

商 品 (DVD・書籍)	51,509
棚卸資産 計	51,509

流動資産合計

15,774,521

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品 (カメラ、PC)	122,560
有形固定資産 計	122,560

(投資その他の資産)

敷 金	1,092,000
投資その他の資産 計	1,092,000

固定資産合計

1,214,560

資産合計

16,989,081

《負債の部》

【流動負債】

預 り 金	286,108
健康・介護	(106,847)
厚生年金	(176,601)
給与源泉	(2,660)
未払法人税等	70,000
未払消費税等	310,500

流動負債合計

666,608

負債合計

666,608

正味財産

16,322,473

2024年度（令和6年） 計算書類の注記

特定非営利活動法人OurPlanet-TV

1. 重要な会計方針
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。
- (2) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況
 別紙参照

3. 用途等が制約された寄附金等の内訳
 用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
 当法人の正味財産は16,322,473円ですが、そのうち用途が特定された寄附金等はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
受取寄附金	0	4,190,814	4,190,814	0	主に番組制作情報提供事業に充当(内1,103,000円を甲状腺がんの取材に充当)
受取寄附金	0	279,388	279,388	0	主に社会貢献メディア支援事業に充当
合計	0	4,470,202	4,470,202	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
ビデオカメラ一式		654,689		654,689	532,130	122,559
編集用マウスコンピュータ		343,970		343,970	343,969	1
投資その他の資産		0				
保証金	1,092,000	0	0	1,092,000	0	1,092,000
合計	1,092,000	998,659	0	2,090,659	876,099	1,214,560

5. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
 ・事業費と管理費の按分方法
 各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、法定福利費、地代家賃、水道光熱費については従事時間に基づき按分しています。

人件費（給料手当、法定福利費）	事業費80%・管理費20%
その他経費（地代家賃、水道光熱費）	事業費80%・管理費20%

注記2. 事業別損益の状況

	番組制作 情報提供	メディア教育 支援	社会貢献 メディア支援	管理部門	合 計
勘定科目名称					
《経常増減の部》					
【経常収益】					
【受取会費】					
正会員受取会費	0	0	0	140,000	140,000
賛助会員受取会費	1,462,937	0	97,529	390,116	1,950,582
受取会費 計	1,462,937	0	97,529	530,116	2,090,582
【受取寄付金】					
受取寄付金	4,190,814	0	279,388	1,117,550	5,587,752
受取寄付金 計	4,190,814	0	279,388	1,117,550	5,587,752
【受取助成金等】					
受取助成金等 計	0	0	0	0	0
【事業収益】					
メディア支援事業収益	787,628	841,500	5,372,550	0	7,001,678
事業収益 計	787,628	841,500	5,372,550	0	7,001,678
【その他収益】					
受取 利息	0	0	0	1,149	1,149
雑 収 益	0	0	0	11,759	11,759
その他収益 計	0	0	0	12,908	12,908
経常収益 計	6,441,379	841,500	5,749,467	1,660,574	14,692,920
【経常費用】					
【事業費】					
(人件費)					
給料 手当(事業)	3,446,040	0	3,446,040	0	6,892,080
法定福利費(事業)	481,247	0	481,247	0	962,494
通 勤 費(事業)	158,382	0	0	0	158,382
福利厚生費(事業)	0	69,854	33,860	0	103,714
人件費計	4,085,669	69,854	3,961,147	0	8,116,670
(その他経費)					
【売上原価】					
売上原価	6,325	0	0	0	6,325
外注費(事業)	112,424	0	512,348	0	624,772
諸 謝 金	94,548	0	0	0	94,548
印刷製本費(事業)	26,945	0	62,570	0	89,515
会 議 費(事業)	92,001	0	31,333	0	123,334
旅費交通費(事業)	516,433	0	375,983	0	892,416
通信運搬費(事業)	315,864	0	127,465	0	443,329
消耗品費(事業)	45,749	0	7,046	0	52,795
機材費(事業)	113,625	0	0	0	113,625
修 繕 費(事業)	14,900	0	0	0	14,900
資料費(事業)	84,194	0	27,600	0	111,794
水道光熱費(事業)	109,510	0	109,510	0	219,020
WEB 構築費	28,800	0	0	0	28,800
地代 家賃(事業)	887,040	0	887,040	0	1,774,080
会場費(事業)	28,769	0	0	0	28,769
リース料	2,541	0	39,324	0	41,865

減価償却費(事業)	135,450	0	0	0	135,450
諸会費(事業)	7,200	0	0	0	7,200
租税公課(事業)	0	0	200	0	200
支払手数料(事業)	58,750	0	0	0	58,750
雑費(事業)	0	7,820	0	0	7,820
その他経費計	2,681,068	7,820	2,180,419	0	4,869,307
事業費計	6,766,737	77,674	6,141,566	0	12,985,977
【管理費】					
(人件費)					
給料手当	0	0	0	1,723,020	1,723,020
法定福利費	0	0	0	240,624	240,624
通勤費	0	0	0	140,038	140,038
福利厚生費	0	0	0	299,400	299,400
人件費計	0	0	0	2,403,082	2,403,082
(その他経費)					
印刷製本費	0	0	0	110,472	110,472
会議費	0	0	0	93,571	93,571
通信運搬費	0	0	0	233,656	233,656
消耗品費	0	0	0	53,965	53,965
水道光熱費	0	0	0	54,755	54,755
地代家賃	0	0	0	443,520	443,520
接待交際費	0	0	0	9,800	9,800
資料費	0	0	0	26,400	26,400
諸会費	0	0	0	159,375	159,375
租税公課	0	0	0	310,950	310,950
支払手数料	0	0	0	122,454	122,454
会場費	0	0	0	30,800	30,800
雑費	0	0	0	9,916	9,916
その他経費計	0	0	0	1,659,634	1,659,634
管理費計	0	0	0	4,062,716	4,062,716
経常費用計	6,766,737	77,674	6,141,566	4,062,716	17,048,693
当期経常増減額	-325,358	763,826	-392,099	-2,402,142	-2,355,773
《経常外増減の部》					
【経常外収益】					
経常外収益計	0	0	0	0	0
【経常外費用】					
経常外費用計	0	0	0	0	0
《正味財産増減の部》					
税引前当期正味財産増減額	-325,358	763,826	-392,099	-2,402,142	-2,355,773

監査報告書

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

代表理事 白石 草 様

私は、第20期2024年1月1日から2024年12月31日までの監査を行ない、次のとおり報告する。

1、監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を監査した。(監査実施日2025年2月4日10:00~11:08)
業務監査については聴取によって実施した。

2、監査意見

(1) 活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認める。

(2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

2025年2月4日

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

監 事

吉原毅 印 

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV
2025年度 事業計画

1、事業実施の方針

2025年は戦後80年の節目の年です。同時に核兵器が開発されてから80年でもあります。前年度は、ニュースコンテンツ中心の配信となりましたが、今年度は、過去の歴史に思いを巡らしつつ、現在の社会課題の解決に繋げるべく、独自の切り口によるショートドキュメンタリーやインタビュー番組を配信できるよう取り組みたい所存です。

さて戦後80年ということは、日本が戦前の翼賛体制から脱皮し、言論の自由をはじめ、民主的な時代に踏み出してから80年ということになります。しかし、憲法に謳われた「基本的人権の尊重」「主権在民」「平和主義」「三権分立」といった原則のいずれを取り上げても、非常に危うい状況にあり、揺らいでいます。

その背後にあるのはジャーナリズムの危機です。OurPlanet-TVを立ち上げた2001年当時は、インターネットを通じた動画がこれほどまでに社会を席卷し、また、主流メディアが衰退するとは想像していませんでした。個人が動画配信する力を得ることで、多様で豊かな言論空間が醸造されると考えていました。しかし、進行した事態は異なっていました。インターネットの動画コンテンツは、視聴回数やページビューによって多額の広告費がもたらされる構造が生み出され、虚偽の情報であっても、アクセスさえ多ければ、多額の広告費を得ることができるようになりました。デジタル空間上には優れた大切な情報も多数、存在しますが、それらはむしろ少数で、多くのジャンクかつフェイクな情報に溢れています。

OurPlanet-TVの持てる力はわずかですが、20年以上、インターネットに依拠し、動画を配信してきた非営利組織として、他の非営利団体やNGO、ジャーナリストと連携する機会を増やし、デジタルの言論空間上で埋没している少数者の声を可視化したり、アーカイブを蓄積するなど、プラットフォーム的な役割を担えるよう、未来につながる取り組みを考えたいと思います。

活動開始から24年目となる2025年。OurPlanet-TVは、これからも人びとの「小さな声」に耳を傾け、個人と個人をつなぐという役割を大切に、丁寧に活動を続けていきたいと思えます。引き続きご支援をお願いします。

代表理事 白石 草

2、事業実施に関する事項

—コンテンツ制作に係る事業—

(1) 市民の視点や人権・環境を考慮にいたった番組の制作

独自企画番組の制作および配信

2025年度は戦後80年の年であり、さまざまな節目の年でもある。普段のニュースコンテンツに加え、独自の切り口のショートドキュメンタリーなどを制作・配信したい。

独自記録のアーカイブ

撮影映像のデジタル化、アーカイブ化に関する計画、資金調達などを行う。

番組関連イベント

「甲状腺がん調査・取材プロジェクト」の報告会をメディアカフェ等で定期的を開催していく。

DVD販売・自主上映

引き続き「飯舘村 わたしの記録」や「OurPlanet-TVコレクション」のDVD販売を拡げていく。

(2) 人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

映画紹介

主にメールマガジン、ニュースレター等で紹介していく。ドキュメンタリー映画に限らず、多様な視点を持つインディペンデント作品も取り上げたい。

—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

(3) 子ども・市民のための映像制作教育

映像制作ワークショップ

2020年の新型コロナウイルス感染症をきっかけに開催を見合わせていた映像ワークショップを再開する。日程は、秋季ワークショップとして10月11日(土)～13日(月)を予定。

(4) 市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

メディアカフェ

事務局スペースの貸し出しを継続し、広報メディアサポートを実施する。「アジアプレス」「3. 11甲状腺がん子ども支援ネットワーク」の2団体がスペース利用を継続する。「甲状腺がん調査・取材プロジェクト」の報告会をメディアカフェで定期的を開催していくほか、毛利嘉孝理事の著作「ストリートの思想 増補新版」が昨年発売されたことを受け、関連した連続トークイベントなどを企画していく。

アドボカシー活動

社会学者に損害賠償を求められている訴訟は、4回の和解協議を経て、弁論再開となった。

(5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

映像コンテンツなどの受託制作

昨年度末より、子どもの権利オンブズながさきの取り組む「別室登校支援」の教育関係者向け啓発ビデオや、第二東京弁護士会の法学教育のビデオ制作に入っている。このほか、例年通り、原水爆禁止世界大会などの動画発信に寄与していきたい。

講師派遣

要望に応じて、映像ワークショップや広報セミナーの講師派遣または運営・実施を随時行う。

広報セミナー・広報サポート

引き続き、横浜市社会福祉協議会での広報力向上研修を実施するほか、NPO、NGO の広報担当者を集めての実施していた広報ゼミを再開。2か月に一度、広報や情報発信に課題を抱える NPO、NGO 等の相談等に応じていく。

—組織運営に関する事項—

組織・事務局

必要に応じてスタッフを配置する。1～3月にアメリカ・ワシントン大学からインターンを1名受け入れる。認定NPO法人の2度目の更新となるため遅延、不備のないよう書類の作成を進める。

ファンドレイジング

例年通り4月と11月にニューズレターを発行する。寄付キャンペーンは年に2回程度(7～8月、11～12月)実施するとともに「甲状腺がん調査・取材プロジェクト」への支援も定期的に呼びかけていく。助成金は随時申請していく。

<年間計画案>

	組織	コンテンツ制作事業	メディアカフェ事業	社会貢献支援事業
1月	理事会			
2月	監査	ショートドキュメント	トーク企画	第二弁護士会 アールユス賞授賞式
3月	通常総会	甲状腺がん PJ 報告	トーク企画	オンブズパーソン長崎
4月		ショートドキュメント		
5月				
6月		甲状腺がん PJ 報告		
7月	理事会			原水爆禁止世界大会
8月		ショートドキュメント		原水爆禁止世界大会
9月	認定更新手続き	被爆 80 年イベント		
10月	理事会		映像ワークショップ	
11月				護憲大会
12月	理事会	甲状腺がん PJ 報告		

活 動 予 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

自 2025 年 1 月 1 日 至 2025 年 12 月 31 日

【経常収益】

【受取会費】

正会員 年会費 200,000

賛助会員 年会費 2,000,000

【受取寄付金】

一般寄附 4,500,000

【受取助成金等】

助成金 500,000

会費・寄付・助成金 収益 計 7,200,000

【事業収益】

番組制作情報提供 650,000

メディア教育支援 900,000

社会貢献メディア支援 8,500,000

事業収益 計 10,050,000

【その他収益】

受取 利息 -

雑 収 益 -

その他収益 計 0

経常収益 計 17,250,000

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給与 手当 6,900,000

法定福利費 1,000,000

通勤費 (事業) 150,000

福利厚生費 (事業) 80,000

人件費 計 8,130,000

(その他経費)

外注費 (事業) 700,000

謝礼金 350,000

印刷経費 (事業) 50,000

会議費 (事業) 120,000

旅費交通費 (事業) 900,000

通信運搬費 (事業) 400,000

消耗品費 (事業) 50,000

水道光熱費 250,000

地代 家賃 1,800,000

機材費 (事業) 100,000

修繕費 (事業) 20,000

資料費 (事業) 100,000

WEB 構築費 30,000

会場費 (事業) 30,000

広告宣伝費 0

リース料 50,000

映画上映料 0

仕入 0

保険料（事業）	0	
諸会費（事業）	10,000	
租税 公課（事業）	310,000	
支払手数料（事業）	50,000	
接待交際費（事業）	10,000	
雑費（事業）	0	
その他経費 計		5,330,000
事業費 計		<u>13,460,000</u>
【管理費】		
（人件費）		
給与	1,800,000	
法定福利費	250,000	
通勤費	140,000	
福利厚生費	280,000	
人件費 計		<u>2,470,000</u>
（その他経費）		
印刷 経費	80,000	
支払 報酬	100,000	
会 議 費	40,000	
旅費交通費	10,000	
通信運搬費	200,000	
消耗品 費	50,000	
水道光熱費	70,000	
地代 家賃	440,000	
接待 交際費	10,000	
諸会費	160,000	
租税 公課	0	
支払手数料	160,000	
会場費	0	
管理費 計		3,790,000
經常費用 計		<u>17,250,000</u>
当期經常増減額		0

役員改選

1. 任期满了となる理事ならびに監事の改選を行う。次期役員候補を以下の通り提案する。
2. 新任任期は、第20回通常総会終了後より第22回通常総会までとする。
3. 役員候補案

◆ 理事候補案(五十音順)

引き続き現行の役員体制で取り組んでいきたい。

< 継 続 >

- 稲熊 伸治 (クリエイティブディレクター)
- 大槻 貴宏 (ポレポレ東中野代表/トリウッド代表)
- 近藤 剛 (映像ディレクター)
- 白石 草 (ジャーナリスト)
- 浜田 忠久 (市民コンピュータコミュニケーション研究会代表)
- 松浦 さと子 (龍谷大学教授)
- 毛利 嘉孝 (東京芸術大学大学院教授)
- 井桁 大介 (弁護士)
- 永田 賢介 (認定NPO法人アカツキ 理事/職員)
- 橋爪 明日香 (メディアクリエイター)

◆ 監事候補案

< 継 続 >

- 吉原 毅 (学校法人麻布学園理事長/城南信用金庫名誉顧問)